

昭和60年入社 江藤和彦

爽友会のみなさま、お元気でしょうか？

前回原稿を書いたのが、還暦の時だったと思いますが、それから4年ぶりとなります。今回「今のわたし」といったテーマをいただき、還暦の時と何が変わったかという勤務先は変わってないし、相変わらず仕事中心の生活を送っています。4年前はコロナ禍後半とはいえ、勤務先の熊本城ホールも完全には稼働していませんでしたが、今は当たり前前に稼働しており、かなり多忙な日々となっています。今年の2月は朝6時から22時まで働く日々が続くなど、昔のコカ・コーラを思い出すような働き方でした。

なぜこのような勤務となるのかですが、熊本城ホールは、約2300人収容できるメインホール、約700人収容できるシビックホール、各種展示ができる1600㎡の広さの展示ホール、大小19部屋がある会議室フロアがあり、5000人規模の会合を招致し、経済効果を産むように熊本市が建てた建物で、様々な部署が医学系・理工学系学会・国際学会・イベントなどの誘致活動を積極的に行っている結果、稼働率が上昇しつつあり、それに伴い業務が増大しているからです。学会期間中は営業決起大会のようなものが毎日あるようなもので、主催者が最も大変ですが、主催者から依頼されたことを間違いなく準備する私どももなかなか大変です。

さすがに64歳になると、もういいかなといった気になったりします。会社としては65歳以降も希望すれば処遇も変わらず勤務できますが、65歳を一つの区切りとして、あとはショートタイムに切り替えて、自分の時間を楽しもうと考えています。一方で今の職場は、コカ・コーラのOBの方にもお会いする機会に恵まれています。もしイベントや確定申告などで熊本城ホールへお越しの際は、ぜひ声をかけてください。

蛇足ですが、熊本城ホールにはほぼ全メーカーの自販機が20台ほどあり、コカ・コーラの自販機が最も多く設置されています。パーマシンの低い自販機もあり、申し訳ない一面もあるのですが、同ロケーションに各メーカーの自販機がある場合、コカ・コーラの売り上げがやはり圧倒的で、うれしく思います。自販機ビジネスは厳しいですが、引き続き頑張っしてほしいものです。